

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学校探検を実施したことで、1年生は学校について知り、施設や人により関心をもつことができた。2年生は、昨年经验したことを基に、1年生のためにすすんで学習活動を考え、学校の紹介をすることができた。
- ・植物や生き物を育てることに喜びを感じ、意欲をもって取り組むことができた。授業内で、「大きさ」「形」「色」「におい」「手触り」などの具体的な観察の視点を示したことで、じっくりと観察し、言語化することができた。

(2) 課題

- ・学校や家庭、地域での実生での経験を活用し、課題解決に向けた考えを表現することが必要である。しかし、生活経験自体が希薄な児童も多くいるため、日々の学習の他に、学校探検や町探検、生活科見学など意図的に体験させる活動を取り入れることが有効と考える。また、経験を生かした学習をするために、2学年分の学習を見通して学習活動を設定することも行う。
- ・私生活の中で、自ら遊びを工夫して楽しむ経験に個人差が見られる。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・学校探検や自然体験などの体験活動を通して、人や自然とのかかわりに関心をもてるようにする。・身近な自然に着目し、学校にいる生き物や植物について実際に観察するとともに、図鑑やインターネットで調べ、気づきや知識を増やす。	<ul style="list-style-type: none">・体験を振り返ったり、自分の言葉で発表したりなど、表現する場面を多くすることで、表現方法を増やす。・体験的な活動を継続することで、相手の立場に立って思考したり、工夫して活動したりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・新しい発見や成長の喜びを伝え合ったり、友達と協力したりして、他者と共感できる機会を設ける。・学校探検や生活科見学など、異学年交流を含んだ活動を継続することで、下の学年は来年度以降の学習の見通しをもてるようにし、上の学年は経験を活かした主体的な学習が行えるようにする。